





能装束 紅地山桜円文蔓草模様縫箔



指定区分	国指定重要文化財(工芸品)
読みかた	のうしょうぞく ベにじやまざくらえんもんつ るくさもようぬいはく
所在地	岡山市北区丸の内 林原美術館
指定年月日	昭和52年6月11日
解説	身丈約138.5cm。紅の綾地に墨で抽象的な形象を染め上げ、細かい唐草文様の繡と摺箔(すりはく)を加えている。桃山から江戸初期に制作された優品である。藩主池田輝政夫人の小袖として作られ、後に能装束に転用されたいい。
アクセス方法	JR岡山駅から徒歩25分／バス「県庁前」下車徒歩3分／路面電車「県庁通」下車徒歩7分
公開状況	林原美術館所蔵
設備	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  駐車場 </div> <div style="text-align: center;">  トイレ </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 5px;"> <div style="text-align: center;">  障害者用駐車場 </div> <div style="text-align: center;">  障害者用トイレ </div> </div>
備考	※摺箔(すりはく):金箔や銀箔を糊などで生地に接着させ、文様を表現する技法。